

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 25. 5. 29 第 183 回国会第 10 号

5 月 29 日（水）、第 10 回の委員会が開かれました。

1 食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 31 号）

- ・ 林農林水産大臣、江藤農林水産副大臣、長島農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・ 採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成－自民、民主、維新、公明、生活 反対－みんな）

（質疑者及び主な質疑内容）

渡 辺 孝 一 君（自民）

- ・ アジア諸国における HACCP の導入状況はどのようになっているか。
- ・ HACCP 導入における多額のコストや人材不足といった問題点を解決するために、どのような取組を行っているのか。
- ・ HACCP に対する消費者の理解を促進するための取組について、農林水産大臣はどのように考えているのか。

石 田 祝 稔 君（公明）

- ・ 農林水産省に設置された「攻めの農林水産業推進本部」と内閣に設置された「農林水産業・地域の活力創造本部」との関係はどのようなものか。
- ・ 前回の法改正からの 5 年間で HACCP 導入にどのような効果があったのか。また、当時の目標を大幅に下回っている原因は何か。
- ・ 今回の法改正は、輸出促進に向けてどのような効果があると考えているのか。

篠 原 孝 君（民主）

- ・ HACCP 導入を促進するためにどのような誘導施策が考えられるのか。
- ・ 農産物の輸出について、国は前面に出て活動するのではなく、民間の創意工夫に任せ、後方支援にとどめるべきではないか。
- ・ EU で規制対象となっているネオニコチノイド系の農薬を我が国でも規制対象とすべきと考えるが、農林水産省

はどのように考えているのか。

鈴 木 義 弘 君（維新）

- ・ HACCP を導入していない国に対し、どのように HACCP の優位性を訴えていくのか。
- ・ HACCP 認証マーク以外にも食品の品質等に関するマークがある中で、消費者に対しどのように差別化を図っていくのか。
- ・ 食品の安全等に関する規格や規制に内包されているリスクについて、消費者にどのように理解してもらうのか。

林 宙 紀 君（みんな）

- ・ 輸出を行わない国内完結の中小企業にも HACCP を導入する理由は何か。
- ・ HACCP 導入促進のための施策として、本法に基づく支援措置がふさわしいと考えるのか。
- ・ 東日本大震災で被災した企業が HACCP を導入する場合もこの支援措置が利用できるのか。

畑 浩 治 君（生活）

- ・ HACCP 導入企業は、コスト削減や設備の簡易化等の取組を行っているのか。
- ・ 農業農村整備事業の予算配分決定に至るまでの中間段階において、農林水産省は事業配分の額を一般に公開しているのか。
- ・ 農業農村整備事業の予算配分決定過程の透明性確保について、農林水産省はどのように認識しているのか。

2 委員派遣承認申請に関する件について協議決定しました。